

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0191400332		
法人名	株式会社 秀		
事業所名	グループホーム とみおか (2F いこい)		
所在地	北海道函館市富岡町1丁目51-20		
自己評価作成日	平成30年2月1日	評価結果市町村受理日	平成30年3月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=0191400332-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成30年2月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・毎日の様子を一行にしーカ月綴った「一行日記」は設立当初より続けており、ご家族も楽しみにされております。
 ・外出行事として五稜郭タワー内のレストランでご家族様と一緒に食事を摂り、展望台や公園内をご家族様、ボランティアの方々の協力を得て散歩されております。桜の季節は函館の桜の名所を回り、秋は赤川水源の紅葉と季節に合わせドライブを楽しんで頂いております。
 ・医療機関との連携については、月2度の内科医の訪問診療と必要に応じた臨時往診、24時間対応の訪問看護ステーションとの医療連携による週1度の看護師の訪問、休日や夜間帯の対応の指示を受け、体調変化時の敏速な対応を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

一日の特徴あるご本人の言動や行動をその情景を思い浮かべられるように「一行日記」に綴り、家族に情報を提供している鉄骨造り3階建ての2・3階を利用した2ユニット(定員:18名)の認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)です。
 一人ひとりのその日の希望に沿って、季節毎にお花見や食事会に出かけたり、家族と一緒に五稜郭タワーやお花見、一緒に食事を楽しむなど家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。
 地域の人々との交流・連携では、七夕には近隣の子どもの訪問があり、利用者との交流や地元中学校の吹奏楽部の生徒達の慰問を受けたり、地域ボランティアの協力など利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域と日常的な交流に取り組んでいる。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項目		取組の成果 ↓該当するものに○印		項目		取組の成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	○	1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどつかんでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作り、玄関や廊下、各ユニットのリビングの壁に掲示している。申し送り、ユニット会議、日々の業務を通じてスタッフ間で理念を共有し実践に繋げている。	事業所独自の理念を作り、見易い場所に掲示して、ユニット会議や全体会議等で職員間で話し合い、その理念を共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	七夕の子供達の訪問、夏祭りの開催、ボランティアの訪問、近隣中学校吹奏楽部の訪問演奏会と回数は少ないが、交流関係を深めている。	七夕には近隣の子供達の訪問があり、利用者との交流や地元中学校の吹奏楽部の生徒達の慰問を受けたり、地域ボランティアの協力など地域との日常的な交流に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等に地域の方に参加して頂き、日々の実践や研修等で得た事を説明し、理解して戴けるようホームの見学はいつでも自由に行っており、近隣住民の方が相談に来られることもある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1度実施しており、取組状況等に報告しご家族や参加者と具体的な意見交換をし、よりよいサービス向上へと繋げている。	年6回を目安に運営推進会議を開催して、事業所の取り組み状況や感染症対策等の具体的な内容について話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	機会あるごとに実情や取り組みを伝え、協力関係を築くように取り組んでいる。	市担当者とは、日常業務を通じて情報の交換に努め、指導や助言を得ながら協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎日の申し送り、ユニット会議等において、機会ある毎に話し合い、理解し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を毎日の申し送りやユニット会議、内部研修会等を通じて正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	市開催の講習会に参加し、ユニット会議で日頃の自分たちの言動やケアの方法についての問題点がないか話し合い、日々不適切なケア防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	当ホームで成年後見人制度を使用されている方もおり、運営推進会議を通してご家族様にご説明させて頂き、必要なご家族には、アドバイスや支援をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には契約書、重要事項説明書の内容をご家族に説明しご理解、納得を得て契約して戴いている。また改定等や解約時も十分な説明をしご理解、納得を戴いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情に対する窓口、意見箱を設置している。ご家族来訪時にご意見や苦情、ご要望等を直接言って頂けるよう働きかけている。運営推進会議では、包括支援センター等の意見を聞き改善に取り組んでいる。	家族や来訪者等が苦情等を言い表せるように第三者機関への申し出先を明示している。また、玄関入り口に意見や要望等を言い表せるように意見箱を設置し、そこでの意見等を運営に反映できるように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り、ユニット会議の場、日常の中でも、常に職員が意見や提案を話せる機会を設け、反映させている。	日常業務やユニット会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、そこでの意見や提案を運営に反映できるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場環境、条件の整備は整えられてきている。賞与、昇給、手当等の見直し、労働時間の要望等も考慮している。資格取得者には、給料段階の設定を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修を受ける機会を進めているが、人員配置の関係上、現状はごく一部の職員に限られている。内部研修については、開催を職員に周知し、欠席者には研修内容をいつでも回覧できるようにしている。資格取得の支援もある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	交流する機会は少ないが、勉強会等参加時は積極的に同業者との交流や情報交換を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人様、ご家族様と面談し不安に感じている事、心配事等をアセスメントし、入居後はご本人様が安心した生活が出来るよう関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人様、ご家族様との面談時のアセスメントをしっかりと行い、要望を聞き入れながら聞き入れながら安心して暮らして戴けるよう、敏速なたいおうで信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様との面談時の要望、意見等の情報分析、ケアマネ、医療機関、関係者等からの情報収集をし、必要としている支援を見極め安心して生活出来るよう対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物たたみ、食器拭き、拭き掃除等出来る事を一緒に行い、コミュニケーションを取り、互いに信頼できる関係作りを築いている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との連絡を常に密にし共に同じ方向性を持ち、ご家族関係を大切にしながら、支援していく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人の来訪、電話等があるのは一部の方だが、昔話の会話の中から思い出して戴くよう努めている。外出時には、馴染みの場所に立ち寄りよう支援している。	季節毎にお花見や食事会に出かけたり、地域の行事参加や子ども達との交流の機会を設けるなど馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係を把握し、状況に合わせ席替え等を行い孤立を防いでいる。食事等、常にリビングで顔を合わせ、お互い自然に挨拶が出来る関係が築かれている。レク、お手伝い等で入居者様同士が関わり合えるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もご本人様、ご家族様との関係を大切にし、いつでも相談等や支援を行える体制を取っている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様、ご家族様の思いや意向の把握に努めると共に、日々の関わりの中からご本人の思いを把握し、ユニット会議等で全職員が思いを共有し、その人らしく暮らせるように支援している。	一人ひとりの希望や意向を把握して、ユニット会議で職員間で情報を共有して、本人本位に支援できるように努めている。	
----	---	--	--	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様、ご家族様、担当ケアマネ等から情報を収集し、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	関わりを通じて、心身状態等を把握し職員間で情報を共有し、出来る事、出来ない事、好きな事、嫌いな事を把握し、その日その人が望む生活が送れるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様、ご家族様の意向、要望も含め、カンファレンス、ユニット会議等を通して職員の意見も反映して、介護計画を作成している。	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族の意向や要望、ユニット会議等を通じて職員の意見やアイデアを反映して、現状に即した介護計画を作成している。また、状態変化時には見直しを実施している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護計画を作成記録し、申し送り、連絡ノート等で職員間での情報の共有をし、ユニット会議等機会ある毎に、個別のカンファレンスを行い介護計画に反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々必要性に対応出来る様、全職員間で情報を共有し、柔軟な支援やサービスに対応出来る様に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	七夕の子供達の訪問、ボランティアの訪問、近隣中学校吹奏楽部の訪問と回数は少ないが楽しんで暮らせるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前にご本人様、ご家族様の意向を把握し、希望されたかかりつけ医の受診を支援している。	往診や訪問看護の利用、通院への支援や日常の健康管理等で適切な医療を受けられるようにしている。また、本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の関わりの中で気付いた小さな変化も職員間で共有し、訪問看護師に相談、指示を仰いでいる。訴え、食事量、排泄等の変化に注意し、小さな変化も見逃さないよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際、医療機関とは連絡を密にし、退院に向けご本人様の状態に合わせた支援が出来るよう情報交換を行い、関係作りに努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	ご本人様、ご家族様の希望意向に添えるよう、事業所で出来る事を説明し理解して戴き主治医、医療関係者と支援に取り組んでいる。	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合い、事業所ができることを十分に説明しながら職員間で指針を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故に合わせた対応マニュアルを全職員が周知していると共に、訪問看護師、主治医に連絡を取り、冷静に指示が聞き分けられるよう身につけている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害に備えて消防立ち会いの下、避難訓練を行い、入居者様が安全に避難できるよう取り組んでいる。運営推進会議等で協力体制を築くよう努めている。	消防署の協力を得て、昼夜間を想定した避難訓練を定期的実施している。また、急変や事故に合わせた対応マニュアルを全職員が周知できるよう取り組んでいる。	

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の人格を尊重し、言葉使いや動作に配慮し、親しみを込めつつも、人生の大先輩として尊敬した対応を行うよう、日々確認している。	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる言葉かけや対応がないよう日常業務やユニット会議等で話し合い、職員間の周知に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	対話や傾聴、表情の変化などから、ご本人の意向を汲み上げるよう心がけ、声掛けの際には選択的な質問する等、自己決定出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	お一人お一人のペースを大切に、その人らしく過ごすことが出来るよう、その日、その時の希望に沿えるよう支援している。職員側の都合を優先しない支援を行うよう機会ある毎に確認している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪形や洋服の選択等、ご本人様の意向に沿うよう支援している。毎日の身だしなみとして、男性はひげを剃られ、女性は化粧をされている入居者様もいる。入居者様間でも服の色やデザインが話題に上がることもある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は入居者様の要望や季節ごとの旬な食材を取り入れ、食事の準備や片付けを一緒にやっている。音や匂いで食事が出来上がる楽しみを感じて戴き、職員と共に食卓を囲まれ団らんのひと時を過ごされている。	季節毎にお花見や食事会に出かけたり、家族と一緒に五稜郭タワーやお花見、一緒に食事を楽しむなど食事が楽しみなものになるよう機会を設けている。また、水分・食事摂取量を把握している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の量、形態等お一人お一人に合わせ、間食も含め偏りの出ないように工夫している。水分に関しても、状態に合わせて糖分などに配慮し、好みに応じて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯ブラシが使用できない方やうがいが多い方には、歯磨きティッシュを使用してケアを行っている。デンタルリンス、歯間ブラシ等を使用し、お一人お一人に合わせた口腔ケアを支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表で排泄パターンを把握し、排泄サイン等も見逃さずに声掛け誘導をして、可能な限りトイレでの排泄を支援している。	一人ひとりの力や排泄パターンを把握して、声かけや誘導等の工夫でトイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や廊下の往復などを声掛けで行い、身体を動かして戴くよう働きかけている。水分量が少ない方には、寒天ゼリー等で取って戴けるように工夫し、必要時には訪問看護師、主治医に相談し予防を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	浴室は常に清潔を保ち、職員都合ではなく、ゆったり入浴を楽しんで戴けるよう支援している。週2回の入浴を予定しているが、身体汚染時など状況に合わせて随時支援している。	週2回の入浴を目安に一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に応じて柔軟な状況に応じた支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や状況に応じた休息の時間の支援や、居室内の温度や湿度に注意し安眠できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに薬情紙を添付し、何時でも確認ができ、薬の調整があった場合には、職員間で情報を共有し観察して主治医に報告している。嚥下の状態により、トロミを付けるなどの支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	カラオケのお好きな方、習字が得意な方、お手伝いを役割にされている方など、お一人お一人に寄り添い、張り合いや喜びのある日々を過ごして戴けるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節に合わせて花見、紅葉ドライブを実施。ご家族と定期的に外出されている方もおられる。散歩や日光浴等、日常的な外出支援が少ないことが課題	一人ひとりのその日の希望に沿って、散歩や外気浴、季節毎にお花見や食事会に出かけたり、家族と一緒に五稜郭タワーやお花見、一緒に食事を楽しむなど家族と協力しながら出かけられるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が出来る入居者様は殆どおらず、ご家族様とホームで管理し必要なものは購入している。買い物をしてお金を使う支援が出来るよう努めている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様ご本人から電話をされることはないが、ご家族やご友人から電話があった時は、自宅でゆっくりお話し出来るよう配慮している。遠方のご家族からの手紙やはがきを楽しみにされている入居者様もおられる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングの壁には職員と入居者様が作成した、季節感のある作品や飾りを提示し、廊下には行事やご家族様との思い出の写真が提示しており、立ち止まり見入られている姿もよく見られている。リビングには加湿器を設置し、換気、採光、音量等に配慮し快適に過ごせるよう努めている。	共用空間には、行事参加の写真の掲示や季節毎の飾り付けなど季節感や生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子に座りお独りの時間を過ごされている方や、気の合った方とソファでお話をされている方もいる。入居者様が思い思いに過ごせるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や身の回りの馴染みの物を持ち参して戴き、写真や思い出の品等自由に持ち込み安心して過ごせるよう支援している。お気に入りのぬいぐるみやクッションを、抱いて休まれている方も多い。	居室には、使い慣れた家具や身の回り品が持ち込まれたり、家族の写真の掲示などで本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	混乱の原因を作らないよう、トイレや洗面所は同じ所に誘導し場所を把握して戴けるよう支援している。居室入口に目印の花や飾りを付ける等工夫している。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0191400332		
法人名	株式会社 秀		
事業所名	グループホーム とみおか (3F いずみ)		
所在地	北海道函館市富岡町1丁目51-20		
自己評価作成日	平成30年2月1日	評価結果市町村受理日	平成30年3月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=0191400332-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジент株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成30年2月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・毎日の様子を一行にし一カ月綴った「一行日記」は設立当初より続けており、ご家族も楽しみにされております。
 ・外出行事として五稜郭タワー内のレストランでご家族様と一緒に食事を摂り、展望台や公園内をご家族様、ボランティアの方々の協力を得て散策されております。桜の季節は函館の桜の名所を回り、秋は赤川水源の紅葉と季節に合わせドライブを楽しんで頂いております。
 ・医療機関との連携については、月2度の内科医の訪問診療と必要に応じた臨時往診、24時間対応の訪問看護ステーションとの医療連携による週1度の看護師の訪問、休日や夜間帯の対応の指示を受け、体調変化時の敏速な対応を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項目		取組の成果 ↓該当するものに○印		項目		取組の成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	○	1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんどつかんでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作り、玄関や廊下、各ユニットのリビングの壁に掲示している。申し送り、ユニット会議、日々の業務を通じてスタッフ間で理念を共有し実践に繋げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	七夕の子供達の訪問、夏祭りの開催、ボランティアの訪問、近隣中学校吹奏楽部の訪問演奏会と回数は少ないが、交流関係を深めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等に地域の方に参加して頂き、日々の実践や研修等で得た事を説明し、理解して戴けるようホームの見学はいつでも自由に行っており、近隣住民の方が相談に来られることもある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1度実施しており、取組状況等に報告しご家族や参加者と具体的な意見交換をし、よりよいサービス向上へと繋げている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	機会あるごとに実情や取り組みを伝え、協力関係を築くように取り組んでいる。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎日の申し送り、ユニット会議等において、機会ある毎に話し合い、理解し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	市開催の講習会に参加し、ユニット会議で日頃の自分たちの言動やケアの方法についての問題点がないか話し合い、日々不適切なケア防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	当ホームで成年後見人制度を使用されている方もおり、運営推進会議を通じてご家族様にご説明させて頂き、必要なご家族には、アドバイスや支援をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には契約書、重要事項説明書の内容をご家族に説明しご理解、納得を得て契約して戴いている。また改定等や解約時も十分な説明をしご理解、納得を戴いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情に対する窓口、意見箱を設置している。ご家族来訪時にご意見や苦情、ご要望等を直接言って頂けるよう働きかけている。運営推進会議では、包括支援センター等の意見を聞き改善に取り組んでいる。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り、ユニット会議の場、日常の中でも、常に職員が意見や提案を話せる機会を設け、反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場環境、条件の整備は整えられてきている。賞与、昇給、手当等の見直し、労働時間の要望等も考慮している。資格取得者には、給料段階の設定を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修を受ける機会を進めているが、人員配置の関係上、現状はごく一部の職員に限られている。内部研修については、開催を職員に周知し、欠席者には研修内容をいつでも回覧できるようにしている。資格取得の支援もある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	交流する機会は少ないが、勉強会等参加時は積極的に同業者との交流や情報交換を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人様、ご家族様と面談し不安に感じている事、心配事等をアセスメントし、入居後はご本人様が安心した生活が出来るよう関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人様、ご家族様との面談時のアセスメントをしっかりと行い、要望を聞き入れながら聞き入れながら安心して暮らして戴けるよう、敏速なたいおうで信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様との面談時の要望、意見等の情報分析、ケアマネ、医療機関、関係者等からの情報収集をし、必要としている支援を見極め安心して生活出来るよう対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物たたみ、食器拭き、拭き掃除等出来る事を一緒に行い、コミュニケーションを取り、互いに信頼できる関係作りを築いている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との連絡を常に密にし共に同じ方向性を持ち、ご家族関係を大切にしながら、支援していく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人の来訪、電話等があるのは一部の方だが、昔話の会話の中から思い出して戴くよう努めている。外出時には、馴染みの場所に立ち寄りよう支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係を把握し、状況に合わせ席替え等を行い孤立を防いでいる。食事等、常にリビングで顔を合わせ、お互い自然に挨拶が出来る関係が築かれている。レク、お手伝い等で入居者様同士が関わり合えるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もご本人様、ご家族様との関係を大切にし、いつでも相談等や支援を行える体制を取っている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様、ご家族様の思いや意向の把握に努めると共に、日々の関わりの中からご本人の思いを把握し、ユニット会議等で全職員が思いを共有し、その人らしく暮らせるように支援している。		
----	---	--	--	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様、ご家族様、担当ケアマネ等から情報を収集し、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	関わりを通じて、心身状態等を把握し職員間で情報を共有し、出来る事、出来ない事、好きな事、嫌いな事を把握し、その日その人が望む生活が送れるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様、ご家族様の意向、要望も含め、カンファレンス、ユニット会議等を通して職員の意見も反映して、介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護計画を作成記録し、申し送り、連絡ノート等で職員間での情報の共有をし、ユニット会議等機会ある毎に、個別のカンファレンスを行い介護計画に反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々々の必要性に対応出来る様、全職員間で情報を共有し、柔軟な支援やサービスに対応出来る様に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	七夕の子供達の訪問、ボランティアの訪問、近隣中学校吹奏楽部の訪問と回数は少ないが楽しんで暮らせるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前にご本人様、ご家族様の意向を把握し、希望されたかかりつけ医の受診を支援している。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の関わりの中で気付いた小さな変化も職員間で共有し、訪問看護師に相談、指示を仰いでいる。訴え、食事量、排泄等の変化に注意し、小さな変化も見逃さないよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際、医療機関とは連絡を密にし、退院に向けご本人様の状態に合わせた支援が出来るよう情報交換を行い、関係作りに努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	ご本人様、ご家族様の希望意向に添えるよう、事業所で出来る事を説明し理解して戴き主治医、医療関係者と支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故に合わせた対応マニュアルを全職員が周知していると共に、訪問看護師、主治医に連絡を取り、冷静に指示が聞き分けられるよう身につけている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害に備えて消防立ち会いの下、避難訓練を行い、入居者様が安全に避難できるよう取り組んでいる。運営推進会議等で協力体制を築くよう努めている。		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の人格を尊重し、言葉使いや動作に配慮し、親しみを込めつつも、人生の大先輩として尊敬した対応を行うよう、日々確認している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	対話や傾聴、表情の変化などから、ご本人の意向を汲み上げるよう心がけ、声掛けの際には選択的な質問する等、自己決定出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	お一人お一人のペースを大切にし、その人らしく過ごすことが出来るよう、その日、その時の希望に沿えるよう支援している。職員側の都合を優先しない支援を行うよう機会ある毎に確認している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪形や洋服の選択等、ご本人様の意向に沿うよう支援している。毎日の身だしなみとして、男性はひげを剃られ、女性はお化粧をされている入居者様もいる。入居者様間でも服の色やデザインが話題に上がることもある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は入居者様の要望や季節ごとの旬な食材を取り入れ、食事の準備や片付けと一緒にやっている。音や匂いで食事が出来上がる楽しみを感じて戴き、職員と共に食卓を囲まれ団らんの一と時を過ごされている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の量、形態等お一人お一人に合わせ、間食も含め偏りの出ないように工夫している。水分に関しても、状態に合わせて糖分などに配慮し、好みに応じて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯ブラシが使用できない方やうがい難しい方には、歯磨きティッシュを使用してケアを行っている。デンタルリンス、歯間ブラシ等を使用し、お一人お一人に合わせた口腔ケアを支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表で排泄パターンを把握し、排泄サイン等も見逃さずに声掛け誘導をして、可能な限りトイレでの排泄を支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や廊下の往復などを声掛けで行い、身体を動かして戴くよう働きかけている。水分が少ない方には、寒天ゼリー等で取って戴けるように工夫し、必要時には訪問看護師、主治医に相談し予防を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	浴室は常に清潔を保ち、職員都合ではなく、ゆったり入浴を楽しんで戴けるよう支援している。週2回の入浴を予定しているが、身体汚染時など状況に合わせて随時支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や状況に応じた休息の時間の支援や、居室内の温度や湿度に注意し安眠できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに薬情紙を添付し、何時でも確認ができ、薬の調整があった場合には、職員間で情報を共有し観察して主治医に報告している。嚥下の状態により、トロミを付けるなどの支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	カラオケのお好きな方、習字が得意な方、お手伝いを役割にされている方など、お一人お一人に寄り添い、張り合いや喜びのある日々を過ごして戴けるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節に合わせて花見、紅葉ドライブを実施。ご家族と定期的に外出されている方もおられる。散歩や日光浴等、日常的な外出支援が少ないことが課題		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が出来る入居者様は殆どおらず、ご家族様とホームで管理し必要なものは購入している。買い物をしてお金を使う支援が出来るよう努めている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様ご本人から電話をされることはないが、ご家族やご友人から電話があった時は、自宅でゆっくりお話し出来るよう配慮している。遠方のご家族からの手紙やはがきを楽しみにされている入居者様もおられる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングの壁には職員と入居者様が作成した、季節感のある作品や飾りを提示し、廊下には行事やご家族様との思い出の写真が提示しており、立ち止まり見入られている姿もよく見られている。リビングには加湿器を設置し、換気、採光、音量等に配慮し快適に過ごせるよう努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子に座りお独りの時間を過ごされている方や、気の合った方とソファーでお話をされている方もいる。入居者様が思い思いに過ごせるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や身の回りの馴染みの物を持参して戴き、写真や思い出の品等自由に持ち込み安心して過ごせるよう支援している。お気に入りのぬいぐるみやクッションを、抱いて休まれている方も多い。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	混乱の原因を作らないよう、トイレや洗面所は同じ所に誘導し場所を把握して戴けるよう支援している。居室入口に目印の花や飾りを付ける等工夫している。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム とみおか

作成日: 平成 30年 2月 26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	50	行事での外出はあるが、日常的な外出は人員不足も有少ない。日常的な外出や買い物外出の機会を増やす。	戸外へ外出する機会を増やす。	スーパーやお店に買い物外出をして、品物を選びを楽しむ。	1年
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。